

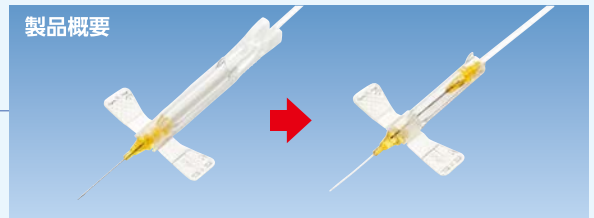
静脈留置カテーテルセーフウィングキャス使用方法

Safewing cath Vol.2



*添付文書を必ずお読みください。

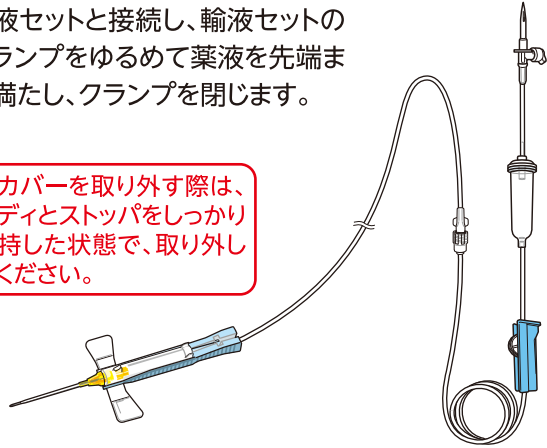
製品概要



1 輸液セットとの接続・プライミング

輸液セットと接続し、輸液セットのクランプをゆるめて薬液を先端まで満たし、クランプを閉じます。

針カバーを取り外す際は、ボディとストッパをしっかり保持した状態で、取り外してください。



2 穿刺

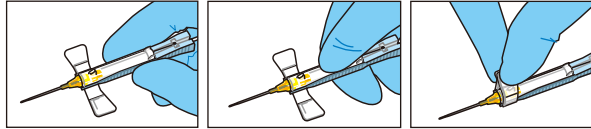
内針が後退しないように、下図のように保持します。

<持ち方例>

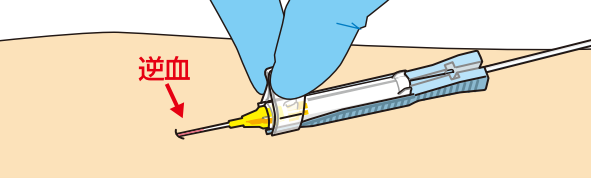
①横持ち

②上下持ち

③ウイング持ち



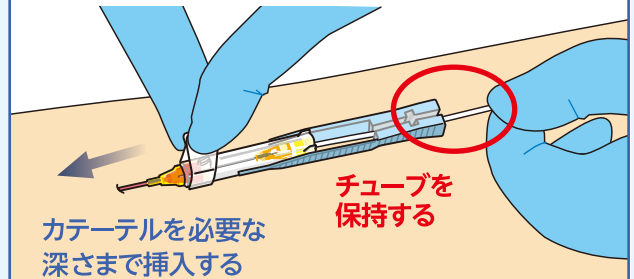
静脈走行に沿って穿刺し、逆血を確認します。



3 カテーテル留置

トリム分だけ進めた後で、血液の逆流を確認しながらチューブを“ゆっくり”ボディの半分くらいまで引いた後、チューブを保持しカテーテルを血管内に押し進めます。

チューブを引けない場合は、ウイングを保持する力を緩めます。

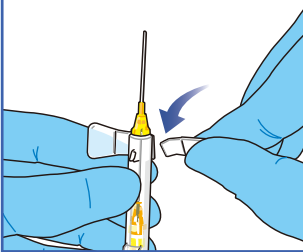


カテーテルを必要な深さまで挿入する

チューブを保持する

6 固定

テープやフィルムドレッシング材などで固定します。ウイングは事前にねじって切り離すこともできます。

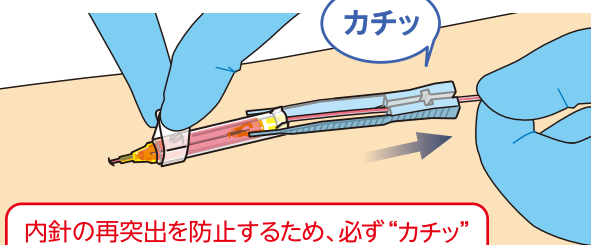


5 輸液開始

輸液セットのクランプを開け、カテーテルが血管に正しく留置されていることを確認するとともに、クランプを調節し輸液を開始します。この時、一時的にボディ内に逆血した血液は薬液で流れます。

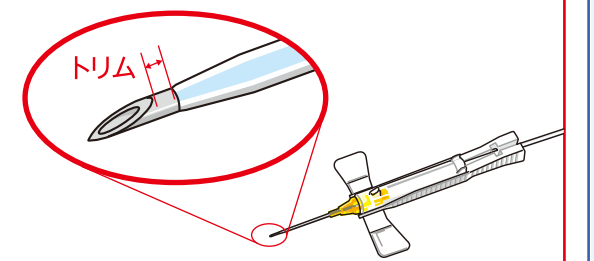
4 内針収納

チューブをカチッと音がするところまで後方に引くと、内針がロックされます。ストッパを外し、廃棄します。



内針の再突出を防止するため、必ず“カチッ”とロックされたことを確認してください。

重要 内針のヒールとカテーテル先端の差を考慮



販売名：セーフウィングキャス 医療機器認証番号：222AABZX00043000



製造販売業者
株式会社 ジェイ・エム・エス

お問い合わせ先
東京本社 ホスピタルプロダクツ営業部 TEL(03)6404-0601
〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル

http://www.jms.cc



こちらよりセーフウィングキャスに関する動画をご覧頂けます。

2013.08.10×A151-LP
2016.11.03×A151-GF